

令和6年度 鳥取沿岸土砂管理連絡調整会議（中部地区） 議事要旨

日時：令和6年12月18日（水）10時～11時40分

場所：中部総合事務所B棟2階202会議室

1 議事

（1）サンドリサイクル事業の効果検証及び課題抽出と今後の対応方針（鳥取県河川課）

○各海岸のサンドリサイクル実績および短長期の汀線変化傾向についての考察が報告された。

<主な意見>

○（北栄町地域整備課）

- ・地元としてもデータで汀線後退が表れている西新田場の侵食を懸念している。
- ・大谷海岸の一部では、砂浜海岸から砂が抜け、礫海岸に変わってきている箇所もある。

○（湯梨浜町産業振興課）

- ・羽合漁港海岸（橋津地区）の汀線も下がっていることから、羽合漁港の浚渫土の養浜位置については、今後検討を行いたい。
- ・本会議の対象範囲外ではあるが、羽合漁港海岸（宇野地区）の汀線も後退しているように見受けられる。

○（鳥取大学 黒岩教授）

- ・羽合漁港海岸（宇野地区～長瀬地区）は、定期的な測量が実施されていないこともあり、衛星画像を用いたモニタリングなどでデータの蓄積を行っていく必要がある。
- ・局所的に汀線が下がっているという課題はあるものの、その対応としては従来通り、事務局から提案のあった巡視及びサンドリサイクルで良いと考える。

（2）各管理者からの報告

■令和6年 河口砂州の変遷について（国土交通省倉吉河川国道事務所）

令和5年度に実施された天神川河口砂州の掘削・養浜及び令和6年度の河口砂州の変遷についての説明が行われた。なお、今後予定されている天神川河口掘削の土砂を、海岸域へ養浜して頂くよう鳥取県河川課から要請があった。

■天神川流砂系総合土砂管理計画に向けて（国土交通省倉吉河川国道事務所）

各領域（砂防、ダム、河道、河口域）における土砂に関する現状と課題、また今後の海岸域を含めた総合土砂管理計画の策定スケジュールの報告が行われた。また、河道域で土砂を海岸域へ供給する方策を検討するため、まずは技術検討委員会で堆砂と深掘れの二極化のメカニズムの把握に努めている旨の報告が行われた。

■北条川放水路における河口閉塞対策検討状況（鳥取県中部総合事務所県土整備局）

北条川放水路の河口閉塞について、当面の対策としての分水堰や河川水を利用した砂州フラッシュ実験の状況が報告された。併せて、ロードマップにおける将来の対策についても概要説明がなされた。

■海岸保全基本計画の改訂に伴う検討委員会について（鳥取県河川課）

気候変動に伴う海岸保全基本計画の改訂状況及び沿岸町へ来年度に立ち上げる委員会への参画要請が行われた。

■東郷湖羽合臨海公園（宇野地区）の対策 工事状況（鳥取県まちづくり課）

令和3年10月の高波浪で被災した階段式護岸の復旧状況及び今後の工事予定の報告が行われた。当該地では定期的な測量が実施されていないことから、モニタリング方法を検討する必要があることが共有された。